

ホーム名：グループホームジョイフル小路					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念・ゆつたり、その人らしく、ふつうの暮らし。を念頭におき利用者個々のスタイルにあわせ、その人らしく生活が出来るように心掛けています。	事業所の理念は入居者の毎日の生活を自分らしく平穏に暮らしていける環境づくりを目指したものである。この精神はゆるぎない福祉支援の在り方として職員一同にいきわたっている。	事業所という共同生活の場においても入居者一人ひとりの個性を大切にしている。これからも共同生活と個人の両面を満たされた支援の取り組みに期待をかけていきたい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所は地域の夜警やリフレ会に参加し地域の一員として日常的に交流している。	事業所はその能力の一端を地域社会の中でも還元し地域に役立つ存在として活動している。自治会にも加入したり、区民館の催しにも積極的に参加したりしている。また、地元のボランティア活動の方々との交流も意欲的である。	地域との関わりの中には将来的に出店の考えもあり、是非実現されて頂きたい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今現在、発信できていない為、事業所として地域の方に認知症を知っていただく為の取組を検討しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議での意見や要望・助言を地域の方や家族様より頂きよりよいホームになるように活かしている。	運営推進会議には事業所管理者をはじめとして包括支援センター、町会長、家族代表者等が参加している。議題は災害に対する備蓄や、防犯の為の施錠についての意見や、食事の盛り付けなど身近な事柄も話合われている。	推進会議としての充実を図るためにも、年三回ある報告時にも出来る限り福祉関係者からの参加者も促され、会議としての機能を向上させるよう期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村・ケースワーカーとの連携にて事業所の実情・サービスなどを伝え協力関係を築くように務めている。	事業所だけでは解決しにくい問題について市に相談し助言を求めたりしている。保健福祉課には車椅子のオーダーメイドの世話を受けた事もある。事業所は市と接点を増やしていく事を課題としている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	身体拘束には力をいれて取り組んでいます。定期的に内部研修も実施し、職員間でも情報共有しています。玄関は地域的なこともあり、今現在では施錠していますが、夜間のみ施錠しようとして今評価段階にあります。	身体拘束のない介助支援については重要事項説明書や運営規定にも明記しており徹底した遵守を行っている。職員には定期的に内部研修を実施している。施錠については防犯の理由もあるが、将来的には見守りによる安全確保を確立し、昼間の施錠はなくしたい意向である。	見守り重視の支援方針は施錠のみならず一人ひとりの生活全般にも当てはまる事であり、これからは今まで通り安全な入居生活ができるよう尽力されて頂きたい。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	こういった行為が虐待になるかを研修、会議でも職員に周知し、日々のケアに努めている。		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>日常の金銭管理など、安心サポートを利用し毎月情報共有を行っています。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に入居者様・家族様に契約書・重要事項を全文、読み上げ、疑問点の有無を何度も確かめ理解してもらった上で契約となる。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族様の普段なげない会話が意見・要望のサインだと察知それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族の訪問時に直接話しかけて意見や要望を聞くようにしている。意見箱の設置はあるが利用はされていない。事業所は常に家族の意見を考慮し反映に努めている。</p>	<p>あまり話されない家族については職員どうして話合われ、その人だけについての、話しやすい環境づくりをされてはどうだろうか。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>月一度の会議には代表者も参加し皆の意見や提案を聞き、それらを運営に反映させている。</p>	<p>職員の意見や要望は月一回のスタッフ会議で提起されている。代表者は、入居者の支援に直接携わっている職員の意見を運営に反映できるように努めている。</p>	
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は職員個々の勤務状況の中で、努力・実績などを考慮し、いろんな形で反映し、皆がやりがいが持てるように務めてくれている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員のスキルアップのためのいろんな研修を推進している。費用は全額、会社負担で勤務シフトも考慮してくれる。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>地域包括支援センターが主催するGH連絡会や研修などに積極的に参加し、他グループホームとも連絡を取り合い情報の交換を行っている。</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人の困った事、不安な事などを本人や家族から何度も聞き、本人の気持ちを受け止め、安心した生活の確保に務めている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>家族の困っている事や不安な事。希望・要望などを話し合い、お互いの信頼関係を築いていくように務めている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>まず何から支援するのが優先かを見極めながら「その時」必要に応じたサービス利用に務めている。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>長い年数を共に過ごしている中で、自然とそのような関係性が出来つつあると感じています。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族とは利用者が生活していく中で大事な存在です。職員は利用者と家族の絆を大切にしながら支えあう関係が築けるように務めています。</p>		
20	<p>8</p> <p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>施設行事の案内状や年賀状。地域行事などで馴染みの関係が途切れないように務めている。</p>	<p>入居者の殆んどはここを自分の生活の場と自覚されてきているようであるが、家族の協力も得ながらかつての思いでの人や場所との関係が途絶えないようにあらゆる機会や方法で関係維持に努めるようにしている。</p>	<p>身寄りのない入居者については職員の惜しみない支援をお願いするものである。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の関係を把握し、ソファー・食事時の席の配置に気をつけお互い良い関係が保てるように務めている。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>相談や要望があれば出来る限りの協力支援は行う。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの主訴や生活暦を大切に「その人らしい」暮らしが継続できるように務めている。</p>	<p>入居者一人ひとりに話しかけをして、その思いや希望を見出すようにしている。職員は互いに意見を交換しあい入居者が満足してもらえるような支援をしている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める</p>	<p>入居前の情報や本人の生活暦を踏まえ馴染みの生活が長く続くように努力している。</p>	/	/
25		<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>日々の言動、心身状態など個人ケースに書き入れ、カンファレンスなどで情報を共有し把握する事に努めている。</p>	/	/
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>日々の申し送りで変化の有無や情報を伝達し、それに対しアイデアなどがあれば会議にかけ、皆の意見を聞きながら介護計画に反映させている。</p>	<p>管理者はスタッフ、ケアマネ、家族の意見も含めて総合的に介護計画の作成にあたっている。計画は六か月の長期、三ヶ月の短期に分かれているが入居者の状況によって、適宜見直しが行なわれている。</p>	<p>介護計画は入居者一人ひとりの生活支援の基盤である。健康状態などの変化による対応も重要である。これからも今まで通り総合的な判断をされていかれるようお願いしたい。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>本人のその日その時の状況を個人ケースに細かく書き入れ職員全員が情報を共有し実践した上で介護計画の見直しをしている。</p>	/	/
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族のニーズに答えるようにしている。他のサービスなどは臨機応変に取り組んでいる。</p>	/	/
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの今までの暮らしを支えてきた地域資源の把握によって心身豊かな生活が楽しめる現状の生活と協働できるように支援していく。</p>	/	/
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族同意にて協力医で受診している。又、健康状態や心身の状態によって家族協力の元、適切な医療機関の受診を支援している。</p>	<p>協力医は東和病院であり月二回の往診をうけている。家族が希望すれば従来からのかかりつけ医の診察も可能である。その場合には家族の協力も求められる。事業所も支援するようにしている。</p>	

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>いつも同じ看護師さんなので、利用者の健康状態を把握している。看護師と顔馴染みなので本人や職員も気軽に相談できる事が日常の健康管理に役立っている。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>顔なじみの看護師さんが入院時に何かと面倒を見てくれる。又、訪問看護時や職員面会時に情報を得ている。</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族の希望に出来るだけ添えるように話し合い確認し、見取りまで支援して行くように務めている。</p>	<p>入居時の説明では看取りまでの受け入れについては、道義的な見地から、概念的な範囲にとどめている。徐々に看取りまでの詳細な案内をするように心掛けしている。医師の指示で重度化からは家族と再び話し合いをしその意向に沿うように努めている。</p>	<p>これからも従来通り、家族とは、事業所で出来る事と出来ない事を十分に話しあいされ、双方が納得された齟齬のない状態で、終末までの支援をされていくようお願いしていきたい。</p>
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故発生時や急変など、職員は初期対応がすみやかに行えるようにする。又、そのために訓練の場を設け実践力を身に付ける努力をしている。</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>ホームでは年2回の消火・避難訓練をしている。スプリンクラー・自動火災報知機も設置済</p>	<p>年二回の避難訓練を実施している。消防署から指導に対しては職員は真摯に受け止め緊急時に対応できるよう訓練に励んでいる。防火対策としてはスプリンクラーや火災報知器が設置されている。</p>	<p>入居者は一階で生活しているため屋外に避難しやすいが、やや避難場所まで距離があるようである。近所の協力が求められやすいようにする事が望まれます。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	長く築きあげてきた生活暦の中には本人の自尊心や誇りがある。職員は一人ひとりの人格を尊重し言動に注意している。	入居者一人ひとりの個性をよく把握されその人に合った対応をしている。排泄時などは特に自尊心を傷つけないように細心の注意が払われている。名前の呼びかけには「～さん」付けをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の関わりの中でさりげなく本人の希望や思いを表出し、自己決定が出来るように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者のその日の体調・気分などを観察しゆっくりと落ち着いた、一人ひとりの希望に沿った生活を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好みや・季節に合った衣類をセットし本人にさりげなく着替えてもらう。理・美容などは好みの店に通えるように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人の状態を把握しできることは手伝って頂くように務めている。	朝食は事業所で用意したものを食してもらっている。昼、夕は給食会社が用意したものを調理し配膳している。入居者が手伝おうとした場合は出来るだけ当人に任せようとしている。一人で食事が難しい場合は職員が介添えするようにしている。	入居者と職員と一緒に食事をするのは何よりも楽しい事である。こういった支援を継続されていられるよう期待したい。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	一日の摂取量を個人ケースに記録し、利用者の好みにも合わせ何種類かの水分を摂取してもらうように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	1/Wの訪問歯科でのケアや毎食後の口腔ケア、就寝前のケアにと個別に対応している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄習慣を心がけ、自立に向けての支援を行っている。	入居者数が少ないため職員は全員の排泄パターンを把握している。特に自立支援用の訓練はしていないが、当人ができるところまで見守り支援に徹するようにしている。この習慣づけが自立支援につながると考えている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防に、繊維質や消化の良い食品を食べ易く、水分補給も時間毎に、散歩や買物・ラジオ体操などで体を動かしているが、駄目な時はDrに相談しながら対処している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	なるべく本人の希望に沿うようにしているが、その時の体調などを考慮しながらしている。	週に二回、入浴するようにしている。リフト式の機械浴のため入居者も楽に浴槽に入れる。洗髪、着替え、湯の入れ替えなどは毎回おこなわれ気持ちの良い清潔な状態におかれている。時には入浴剤も入れて入居者に楽しんでもらっている。	

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>馴染みの寝具を使用し安眠できるようにセットする。本人の好きな時間に臥床してもらう。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個人ケースに服薬中の説明書を添付し、薬の目的、用法、用量、副作用などを正しく理解し症状の変化などに対応できるように医師の指導の上で支援している。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>季節の行事に必要な飾りつけなどを一緒にするようにしている。</p>		
49 18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩・買物・花見・祭りなど地域行事にでかけたりしている。</p>	<p>寒暖の激しい日は外出は避けているが出来る限り無理のない範囲で散歩するように心掛けている。桜の季節には見物に出かけたりして入居者に喜んでもらっている。</p>	<p>あまり外出を好まない入居者にも楽しく話しかけをされ外気浴の楽しさを教えてあげて頂きたい。</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個別に対応している。必要時にはホームが立替、本人に持たせて、買物の楽しみを味わってもらう。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人が電話や手紙の希望があれば個別に対応し支援している。あらかじめ家族に了解済み</p>		
52 19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の場での不快な音や光などの刺激物は取り除き全体が明るく温かみのあるように配慮している又、皆の目の付く所に自分たちで作ったカレンダーで季節がわかる。</p>	<p>入居者がリビングにいつまでもリラックスできるような自由で温かい自然なムードが出来上がっている。特徴だった際どい色彩もなく全般的に落ちついた空間である。</p>	<p>管理者は天井の蛍光灯にカバーをしたいと考えられている。是非、実現され共用空間に一層の落ち着きを醸し出させて頂きたい。</p>
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ひとり用のソファや少し離れたところに2人用のソファがある。一人になりたい時や来客があった時、気が合う物同士が気楽に過ごせる居場所を作っている。</p>		
54 20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が今まで使っていた使い慣れた物、馴染み深い物を持ってきてもらい、安心した中で生活ができるように工夫している。</p>	<p>それぞれの居室には使い慣れた家具や三面鏡などが設置され、生活感のある部屋づくりになっている。掃除や片づけも行き届き、適宜シーツ交換もなされ清潔さは維持されている。入居者は自分の部屋で落ち着いて生活している。</p>	<p>家族と相談され、季節ごとに入居者の好みの大きめの写真を2、3枚壁に貼付されてみてはどうだろうか。部屋に明るさが増すものと思われる。</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>風呂場には銭湯の暖簾をし、他の場所には分り易く大きな字で書いて貼っている。又、安全な生活を送ってもらうためにも環境整備にも気をつけている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない